

東京都現代俳句協会会報

発行人 今野 龍二
発行人所 東京都現代俳句協会
〒113-0033 文京区本郷5-3-2-302
TEL-FAX 03-3814-1228

一丁目の俳句

中内 火星

「季語？ 俳句に季語はいらない。現代俳句の常識である。芭蕉さんも雑（無季）の句もあつていいと言っている」とは十河宣洋氏の弁。そもそも俳句とは有季定型でなければならぬという誤解は何によるのか。一つに俳句が連句の発句から生まれたから有季定型でなければとするもの。発句から生まれただけであって俳句はもはや発句ではない。もう一つに世代にもよるのだから、小中学校の国語の授業で「俳句」を習った。その際、国語の先生から「俳句とは五七五の定型で季語を一つ入れなければならぬ」と教わった。あるいは教科書にあったのかも知れない。五七五から外れると「字余り」「字足らず」などと言われた。文部省（文科省）の教科用図書検定調査審議会の委員や

国語の先生が俳人だったとは思われない。それで私たちはすっかり俳句は有季定型でなければならぬと信じ込まされてしまった。

ただ、一方で決して定型でなければならぬとしても、季語がなければならぬとも言われない。渡辺白泉の句は否定できない。尾崎放哉も否定できない。できない以上、有季定型は揺らぐ。定型と言いつつ、勝手な都合で「句またがり」など本来ならあり得ない。

さて、その季語も本来なら季題として詠まれるべきであるが、句会などでよく「季語が動く」ということを耳にする。季語が動くのは俳句として良くないということではなく、句のテーマが季語にあるのではなく、措辞にこそある。季語が動くという句にとつて季語は単なる冠なのである。

いわし雲尾はとても老夫婦 某
この「いわし雲」に大した意味はない。「風

薫る」でも「枯葉舞う」でも「雪しまく」でも、何でも俳句として成立する。季語が動くのではなく、句のテーマが「雲尾はとても老夫婦」にあるのだから、季語は単なる冠でしかない。よつて季語である必要もそもそもない。「万歩計広尾はとても老夫婦」いっそ何もなくてもいい。「広尾はとても老夫婦」これが句のテーマだからである。必然的に自由律は生まれる。

咳をしても一人 尾崎 放哉
日は水（ひはひ） 前田 弘
欠番です。 青野ひろ美
シャツ雑草にぶっかけておく 栗林二石路

横並び

俳句を詠むにあたって、囑目・写生とよく言われるが、ただの写生ならスマホでいい。つまらぬ写生句はただの絵葉書で、自身の生き様を反映しないし、また空想の世界へ飛び込んでいくこともない。そして、それらの写生句が伝統に則った句だと誤解する。伝統かどうかは「アンタ」が決めることではない。三十年、五十年、百年後の世界が決めることだ。要するに遺っているかだ。三百年以上を経て松尾芭蕉は遺っている。彼自身、自分は伝統を重んじているなどとはまったく思っていない

かつたろう。むしろ真逆で、ややクレージーで「変」な俳人だった。鳴くべき蛙を飛びこむという動作に持ち込み音を詠むのは当時としてはあり得ない芸当であった。

古池や蛙飛びこむ水の音

芭蕉

こ、かしこ蛙鳴く江の星の数 其角

一畔はしばし啼やむ蛙かな 去来

今、句会で「カエルが池に飛び込みボチャン」などという句が出て誰も選しないだろう。芭蕉の句そのものからは何も得るものはない。芭蕉の生き様にこそ学ぶべきである。過去の多くの俳人はその時代ごとの相対性の中にその価値があり、俳句そのものの絶対的な価値ではない。すなわち、誰しもが作るような横並びの俳句はすぐ消える。

滑稽と悲哀

川柳と俳句の違いと訊かれ「面白いのが川柳。つまらないのが俳句」という人がいた。あなたが無視はできない。人によつて違つとはいへ、概して俳句は面白くないものが多い。面白くない句は自分に入つてこない、心にも何も残らないということだ。面白いというのは共感を得る、目のつけどころに唸られる。ハツと思わされるといふことだ。同時にまた面白さには往々にして悲しみを内包していることがある。いろん

な意味で重いテーマを引きずっている。だからと言って、作者側に深刻さは感じられない。内包している問題（テーマ）の大小、社会性、個人的な差異はあれ、テーマに全力百パーセントであること。遊び半分ではない。多くの俳句がつまらない一番の理由は形にこだわるからである。型に嵌つてしまつていて。

パンがボンと飛び出す男のいない朝

芳賀 弥市

茸狩の貰つたものの捨てちゃおか

田村 廣美

乳のある方が表でございます

ほんものの息子は電話してこない

真鍋、心平太

うどん茹で過ぎやん亀鳴いとるやん

朝日 泥湖

アベ死んでビーチクパーチク統一教会 某
これらの句（俳句・川柳）は五七五音のものもあるが、それぞれ可笑しさの中に悲哀が見え隠れする。さて、最後にわたしが俳句初心者の人にまず教える一句。

なんと気持ちのいい朝だろう

ああのとしゅわるつねつがあ

大畑 等

(了)

東京都現代俳句協会

令和7年度俳句大会

新入会員歓迎会

大会期日 令和7年9月20日(土)

午後1時より

会場 台東区民会館8階 第2会議室

(台東区花川戸2丁目6番5号)

浅草寺二天門近く

TEL 03-3843-1539

・東武線・地下鉄銀座線 浅草駅から
徒歩約5分

・都営浅草線 浅草駅から徒歩約8分

表彰 現代俳句協会会長賞他

講話 桑田真琴先生（実の会）代表

会費 1句持寄り句会 参加費千円

懇親会 参加費6千円

※人数確定1週間前。以降のキャンセルは会費を申し受けます。

大雨をものともせず!
神田明神、湯島聖堂、その周辺―

都区協 春の吟行

※令和7年4月23日 企画部吟行・通信句会

参加者は43名、そして30名近い方が当日雨の中へ参加下さいました。神田明神、妻戀神社、湯島聖堂を瀬藤芳郎副幹事長の案内のもと吟行。万世橋の元プラットホーム上のレストラオンやその近くのお店で食事を取り、おしゃべりを通じ親交を深めることができ、嬉しい限りです。別の日に吟行して下さった方、通信句会に投句して下さった皆様にご心より感謝申し上げます。

※結果発表 参加者43名

★特別選者の特選句と選評

山本敏倅会長

大黒様に呼びとめられている臚 石口りんご

(評) 形のない臚が、あの七福神の一つの大黒天に呼びとめられているという、意外な情景の見立てに不思議な詩情を感じた。

松澤雅世常任顧問

惜春や黒き柱の時間軸

見目 千絵

(評) 黒き柱は神社の大黒柱だろうか。漆黒の太々とした柱には時と歴史が刻まれている。惜春の情と時空の重層感。

松田ひろむ顧問

春雨や妻恋坂で手を離し

栗原かつ代

(評) 「手を離し」は、やや逆説的で一種の諧謔である。春雨が甘やか過ぎるがそれも情感である。

中内火星副会長

春雨の神田明神靴の紐

遠山 弘美

(評) みんなで行った吟行会当日はずっと雨だった。神田明神から妻戀神社を経て湯島聖堂を歩くだけでも大変だった。そんな中、靴の紐が解けたのか。作者にはそれが一番印象的だったのだろう。臨場感を感じた。

長谷川はるか副会長

万緑を額で受くる孔子像

菊池ひろこ

(評) 孔子像の額に照り映える万緑。「額で受くる」が上手い。孔子の教えへの畏敬の念が感じられる一句。

今野龍二幹事長

葉桜や夫のため飛び込む覚悟

長谷川はるか

(評) 花の盛りもとうに過ぎてしまった、女の盛りも同じ。だが愛する夫の為ならば何で

もする、たとえ火の中の水の中。すばらしい夫婦愛。

瀬藤芳郎副幹事長

葉桜や夫のため飛び込む覚悟

長谷川はるか

(評) かつての戦でヤマトタケルが気づかせてくれたことを歌に残して海に入った後の最期を切なく思い出します。

※順位発表

1 甘酒の火照りを灰と恋みくじ

川目 智子

2 惜春や黒き柱の時間軸

見目 千絵

3 学問を問うてみたとして飛花落花

松澤 雅世

4 万緑を額で受くる孔子像

菊池ひろこ

5 春雨ににじむ異国語祈願絵馬

山口 紀子

6 行く春やみくじ見直す聖橋

川崎 果連

7 春雨や妻恋坂で手を離し

栗原かつ代

8 しづく雨神田明神まで躑躅

櫻木美保子

9 櫓若葉街にあふるる簡体字

石口 榮

10 江戸っ子に江戸の詛や藤の花

今村たかし

(以下順不同)

風光る笑みのこぼれる角隠し

磯部 薫子

甘酒を舐めてかかれは男坂

米原 拓土

将門の悔し涙や若葉雨

暮目 俊行

世の罪を問へば孔子に春の雨

西本 明未

春雨の神田明神靴の紐

遠山 弘美

神神をハシゴ春霖連れにして
大黒様に呼びとめられている臚
神馬いま散歩中です若葉風
いまだ恋知らぬ神馬や若葉風
聖橋過ぎて嬌恋坂は夏

関税をしょつ引く銭形春暮るる
鳶重のどこかにぬさう祭礼之図
蝶追つて明神様のうしろへ回る
少年の素読すらすらおき祭
橋蔵と思案最中を春の雨

若葉冷え明神したの甘酒屋
仰高も入徳も門春惜しむ
葉桜や夫のため飛び込む覚悟
春御籤けふは一粒万倍日
聖堂に惜春の情「子曰く」

明神をおぼさんだつてソーダ水
巫女さんの募集に魅かれ楷若葉
職人の守りし社青き梅
桜葉どれだけ降れば君に逢へる
ぼつねんと胴吹き桜咲きのこり

ベビーカーを抱え階段若葉雨
楷の木の若葉のそりと孔子像
鳥帰る妻恋坂の別れかな
春の雨楷の木陰で夢想せし
浮世絵のごと春雨の神田明神

中内 火星
石口りんご
高橋 透水
加那屋こあ
今野 龍二

相沢 幹代
上野 英一
山本 敏偉
讃岐 幸江
五十嵐秀山

藤井 圭子
山崎 百花
長谷川はるか
榎並 恵那
北村眞貴子

高矢 実来
松田ひろむ
石田 弥生
馬場 龍吉
白石 正人

安藤 草太
赤澤 敬子
大山実知子
瀬藤 芳郎
坂本 君江

楷芽吹く大聖臺は緑(あお)の中 中西 由美
雨も雨神田明神夏の雨 栗田希代子
妻恋は今を逃がすな老いの春 宮川 夏

企画部長 宮川 夏・記

Aブロック初夏の吟行句会 砂町銀座と波郷の旧居跡など下町情 緒を満喫！

都区協Aブロックは5月27日、「初夏の吟行句会」を実施。午前中は砂町銀座界隈を思い思いに吟行し、午後は砂町文化センターに集い非会員も含めて38人の参加で囁目2句出し計76句の大会となりました。

砂町は現在の北砂・南砂・東砂・新砂の総称。そもそもは1660年頃に南砂付近を開拓した「砂村新左衛門」に因む地名です。1889年に北側の治兵衛新田、亀高新田村などを合併して「砂村」となり、1921年の町名変更で「砂町」となりました。

石田波郷が雪敷ける町より高し小名木川
と詠んだ小名木川は、1590年代、徳川家康が行徳の塩を江戸に運ぶため、小名木四郎兵衛に命じて開削。その後は行徳・浦安付近の海産物や砂村・葛西付近の野菜の運搬、成

田参詣の船旅などに利用されました。明治期からは工業地帯の輸送路となった重要な河川です。小名木川に架かる明治通りの進開橋南詰にはこの句と「砂町も古りぬ冬日に温められ」の句碑があります。

石田波郷は1946年からの12年間に北砂で過ごしましたが、旧居は現在「カネセン商事」が所有。「カネセン」は波郷の妻「安嬉子」の実家(吉田家)の屋号です。まもなく解体されるということですが。

このエリアには「東京大空襲・戦災資料センター」もあり、1945年3月10日の東京大空襲で、江東区など下町一帯がほぼ焼野原となった当時の被害を中心に様々な戦災の資料が保管・展示されています。

句会の中では野呂達矢氏(元江東区芭蕉記念館次長)が、「江東区ゆかりの俳人と江東区の取り組み」と題して講演しました。

江東区にゆかりのある俳人としてまずあげられるのが松尾芭蕉とその弟子たち。宝井其角、服部嵐雪、杉山杉風、斯波園女など、いわゆる「蕉門」の錚錚たるメンバーが当時の深川を拠点として活動していました。

芭蕉の120年後に生まれた小林一茶もまた現在の江東区大島2丁目に現存する愛宕神

社に一時暮らしました。一茶は「蕉門葛飾派」に属していましたが、この住職が同じ葛飾派の俳人だったことが縁のよかったです。

また『南総里見八犬伝』で知られる曲亭馬琴は深川海辺橋東（現在の江東区平野1丁目付近）の生まれで、彼が編んだ『俳諧歳時記』は堀切実氏が「ほぼ近世期における歳時記の決定版と称してよいもの」と賞賛しています。

明治以降では自由律の俳人として知られ、プロレタリア俳句運動の中心人物の一人として活動した橋本夢道や先述した石田波郷はじめ、岸田稚魚、菖蒲あや、三橋敏雄など多くの俳人が江東区とつながりを持っており、野呂氏はそうした歴史を大切にしながら俳句文化を発展させようとしている江東区の取り組みをご自身の情熱もまじえて報告してくださいました。

(川崎果連…記)

★参加作品(敬称略)

山本敏倅会長 特選
旧宅に舞う師の化身夏の蝶 岡崎 久子
野呂達矢講師 特選
砂町の路地の色彩り夏野菜 香川 純二
今野龍二幹事長 特選
それぞれの銀座に似合ふ夏帽子 重富 圭史

瀬藤芳郎副幹事長 特選

万緑を浴びて波郷の雀等よ

今村たかし監査役 特選

砂町の波郷と昭和梅雨ささず

青木栄子監査役 特選

砂町の人情を貰う夏帽子

川崎果連Aプロック代表 特選

万緑を浴びて波郷の雀等よ

※互選高点10句

1 惜命の杖も眼鏡も迎え梅雨

2 まだ続く銀座と余生とこころてん

3 波郷碑のうしろの黙や夏落葉

4 見納めの波郷旧宅姫女苑

5 軍服は商ひませぬ麻暖簾

6 あじさいに二間間口のせまくなる

7 下町の銀座通りや古茶新茶

8 波郷句碑たどる砂町かたつむり

9 砂町の路地の色彩り夏野菜

10 荒物屋の箱の崩れや薄暑光

※以下順不同

砂村の囃子の音色風薫る

風鈴が聞えてきそくな店ばかり

馬場 龍吉

赤澤 敬子

高橋 透水

高橋 透水

馬場 龍吉

高橋 透水

高橋 透水

川目 智子

青木 栄子

讚岐 幸江

米原 拓土

山口 紀子

今村たかし

久野 孝子

香川 純二

加那屋こあ

野呂 達矢

山本 敏倅

砂町の米俣そろそろ走り梅雨
はつなつのページ捲れば波郷の碑

今野 龍二

石口 榮

川崎 果連

須田 華女

遠山 弘美

伊藤 保子

石口りんご

白石 正人

空仰ぐ「わが父波郷」柿若葉

惜命の杖横たわり夏兆す

夏雲や鬼籍の人の手紙寺

句碑深し寺を一周さくらんぼ

風薫る砂町行きバス停に

大空襲何を得るか燕の子

マレモン売る砂町の青葉冷

長谷川はるか

宮川 夏

波郷句碑青葉若葉に気の満ちて

十葉のそとと咲くなり波郷句碑

砂町の雑多なる薄暑暑光

街騒の止む間のありて梅雨ささず

紫陽花や権現様の塩の道

黒南風や洋品店のまからんや

田島 実桐

小湊(きく)

(加那屋こあ…報)

都区協初心者講座(前期)

元気に開講中!

都区協の初心者講座が2年目を迎えました。講師は現代俳句オーブンカレッジ講師、都区協広報部長と幅広く活動している川崎果連さん。スタッフは研修部の栗原かつ代、墓目俊行の2名が務めています。参加者は18名。定員に達したため、早々に締め切らせて頂きました。4月5月ともに1名欠席。現俳本部図書室は満杯です。4月は「俳句の構造」について、「一物仕立て」と「取り合わせ」のちがいを取りあげた講義。5月は「取り合わせを考える」をテーマに踏み込んだ俳句の作り方の講義でした。皆さんの真剣さと意欲が程よい緊張感を感じさせてくれます。句会は事前投句ですので句の数は19名分。披露は栗原点盛は墓目と、米原拓土さんに手伝って頂きました。全句講評です。初心者講座ならではの質問も積極的に出て内容の濃い句会でした。欠席者にも結果作品集をお送りします。5月は神田明神の例大祭の賑わいの中、懇親会も盛り上がりました。

研修部 栗原かつ代：報

※参加者の作品より(五十音順)

A I の機嫌伺う梅雨の入
車内にて山吹の詩君が説く
紋白蝶コトリと心音消えかかり
わんぱくや命まんまん笹粽
藤の花百日紅の木棚代わり
連弾の手の高揚や夏の蝶
夕さりの葉桜と聞く寺の鐘
夏めきて地蔵の前に缶ジュース
君の目に映る我見る青風
マンシヨンの躑躅満開無料です
風受ける葱坊主には三度笠
なんじやもんじゃ失せものこんなところから
五月晴れガンダム見上げ肩車
散歩拒否わがまま犬や夏立ちぬ
柿若葉君が居てのハーモニーズ
「おおきに」と仲居の笑顔山紫陽花
本郷辺り人も樹木も若緑
逃水やクリミアまでは何センチ
てんとむし知らない人について行く

秋野 晃枝
池田 育子
伊藤キララ
岩田 残雪
可野 房子
小菅 直子
佐藤 友美
田島 潤子
田中 訓子
田中志津子
中島 美晴
福地香久子
風タロー
亦勝 文
水野きみ子
宮川 夏
吉沢 実枝
米原 拓土
川崎 果連

東京都現代俳句協会 2025年度初心者講座
受講者募集

於：一般社団法人現代俳句協会 本部図書室

後期：10月(令和8年1月第2土曜日)

13時30分～16時30分 定員18名

10月11日、11月8日、12月13日、

令和8年1月10日

申込締切9月末日

講師：高橋透水(現代俳句オーブンカレッジ)

講師：2句持ち込み

受講料：全4回 4,000円

申込先：都区協初心者講座担当 栗原かつ代

現代俳句協会事務局

03-3839-8190(返信いたします)

*知人友人にお勧めくださいますようお願いいたします。

(一社)現代俳句協会 東京都千代田区外神田

6-5-4倍楽ビル(外神田)7階

アクセス：JR秋葉原駅・御徒町駅より15分

地下鉄銀座線末広町駅より3分

地下鉄千代田線湯島駅6番出口3分

Tel 03-3839-8190 Fax 03-3839-8191

◎地図などの検索先

ホームページ：https://gendaihaiku.gr.jp

Twitter：https://twitter.com/gendaihaiku

Bブロック 秋の吟行会

実施日：令和7年10月12日(日)

吟行地：池上本門寺 お会式(自由吟行)

日蓮上人の命日の通夜である12日の大法要。周辺各地より信徒が万灯、鉦太鼓でお題目を唱えながら参詣。雨天時も開催。

集合：午前11時 東急池上線・池上駅改札を出た所。

地図を配布します。本門寺は駅より徒歩約10分。当日、本門寺周辺は屋台が並び大変混雑し、バスは交通規制が行われます。

出句：囀目2句(出句受付12時半～13時15分)

句会場：池上会館(本門寺に隣接 大田区池上1-1の32の8)

句会：13時15分 講話：未定

会費：千円 懇親会：なし

夕方18時頃より盛大な万灯行列が始まります。大変混雑しますが、お時間のある方は是非ご観覧ください。

申込先：讃岐 幸江

Tel 080-3554-1289

見目 千絵

Tel 090-4225-0989

申込締切：10月1日(水)

東京都現代俳句協会

発展基金募集について

当協会の円滑充実した事業活動運営のため、発展基金を募集いたします。会員各位におかれましては、左記の要領にてご協力賜りますようお願い申し上げます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

一口一〇〇〇円(何口でも結構です)

都区協現代俳句協会会長 山本 敏倅

振込番号

001105539619

加入者名 東京都現代俳句協会

*同封の振替用紙をご使用ください。

*ネット振込み利用可。

郵便振替払込受領証にて領収書に代えさせていただきます。

基金担当 石口 榮

令和7年発展基金寄付者芳名

(3月1日から5月31日分まで)

敬称略・順不同)

ご支援(ご協力)を深謝申し上げます。なお今後もし引き続き募集していきますのでご協力をお願い致します。

二十口

栗田希代子

十口

高橋 透水

佐怒賀正美

菊池ひろこ

中本 勝美

山本 敏倅

西本 明未

林 暁兵

五口

鳥居真里子

讃岐 幸江

古寺ななえ

鈴木 光子

見目 千絵

栗原かつ代

赤澤 敬子

石川登志子

四十口

野上きよみ

鷲 ケイジ

古寺ななえ

三口

吉野 敏子

櫻木美保子

中村 誓子

二口

石田 弥生

島田 醉雅

一口

山地春眠子

牧野 啓子

第40回高田馬場「春」句会報

令和7年4月1日(火)

兼題「鳥帰る」又は「鳥引く」・
席題「万」

花冷えの雨の中、34名の方々にご参加いただきました。ありがとうございました。

(高得点句)

- 1万歳は悲しい形飛花落花 石口 榮
- 2考える時は母国語鳥帰る 相沢 幹代
- 3私の賞味期限や万愚節 青木 栄子
- 4万年はあつといふ間と亀鳴けり 馬場 龍吉
- 5マラソンの三万人の春の音 山口 紀子
- 6亀鳴くや万病に効く薬とか 讃岐 幸江
- 7住職のシャツに能登の字鳥帰る 赤澤 敬子
- 8万一是毎日のこと遍路杖 山崎 百花
- 9鳥帰るなどと思ひ出横丁に 松田ひろむ
- (以下順不同)
- 万愚節仮想通貨で車買う 宮川 夏
- 被災地の小枝の墓標鳥帰る 暮目 俊行
- 鳥帰る地下鉄路線迷わずに 北村眞貴子
- ミヨちゃんのこと忘れて鳥帰る 遠山 弘美
- 鳥帰るかつて祖国の焦土へと 上野 英一
- 後朝の男見送る花万朵 高橋 透水

花散らす雨や一粒万倍日

万博が始まりますよ亀が鳴く

この湖もかの海もよし鳥帰る

鳥帰る倒れし者の鎮魂に

万歳のような頭に寒戻る

不自由の自由の女神万愚節

鳥帰る語り継ぐべきこと数多

山菜夷の信濃ゆらゆら万歩計

万巻の書を捨てて見よ春の月

鳥帰る都心に住みて飢えしまま

くちびるに未練残さず鳥帰る

鳥帰る微かな光あればこそ

すかすかの書架に紐垂れ鳥帰る

長谷川はるか

川崎 果連

中西 由美

坂本 君江

中内 火星

磯部 薫子

松澤 雅世

渡邊すみれ

蓮尾 碩才

欽守 裕子

栗田希代子

米原 拓土

櫻木美保子

高田馬場「秋」句会のご案内

日時 令和7年10月7日(火)

午後12時半 受付開始

会場 費 1,000円

場所 JR高田馬場駅前Fビル8階

兼題 「茸飯」席題は当日揭示

句会内容 2句投句・互選6句内1句特選

参加申込 見目千絵(定員30名)

TEL090-4225-0999

(シオートメールによるお申込みの際にはご自分の氏名をお書き添えください)

雨降ったこと一度もない万太郎忌 林 ひとみ

トラクターデモ進みゆく花万朵 白石 正人

栄一より諭吉がよろし万愚節 安藤 草太

限られた家族の時間鳥帰る 今野 龍二

今どきも一家揃って鳥帰る 藤井 圭子

和平案延ばし延ばされ万愚節 見目 千絵

(見目千絵 記)

編集後記

国連児童基金(ユニセフ)の報告によると、日本の子どもの身体的健康は36カ国中1位と評価された一方、精神的幸福度は32位と低く、要素として自殺率の高さや心の病による不登校の増加があげられている。学校の取り組みも重要だが、社会そのものがこの現実をしつかり受け止め真剣に取り組まなければ、この惨状を変えることはできない。言うまでもなく社会の基盤は大人がつくっている。

川崎果連

広報部・編集室

〒135-0016 東京都江東区東陽

1-30-8-404 川崎果連方

TEL090-7410-9543

メール: karen.kawasaki2016@gmail.com